

### 1. < 施策の概要 >

基本理念	各種産業を育む活力あふれるまちづくり	統括課	事業部 産業振興課
基本方針	産業振興		
施策名	商工観光	関連課	
方針・目標等	◆商工業者育成による産業の活性化。◆観光入込客数増加による活性化。		
実施内容	◆商工会への運営助成による商工業者に対する経営支援。◆融資制度利用者に対する保証料・利子の補給。		

### 2. < 指標の設定 >

重点	指標名	単位	他団体比較 団体名/実績/年度				算式・引用等	
			H19(実績)	H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)		H23(試算)
①	○ 商業年間販売額	万円						
②	○ 商業事業所数	か所						
③	○ 製造品出荷額	万円						
④	○ 製造事業所数	か所						
⑤	○ 観光入込客数	名						
			H19(実績)	H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(試算)	H24(試算)
①	目標		-	-	-	4,000,000	4,000,000	4,500,000
	実績		3,837,500	-	-	4,000,000		
②	目標		-	-	-	250	250	260
	実績		242	-	-	250		
③	目標		-	-	-	1,500,000	1,500,000	2,000,000
	実績		304,218	1,310,976	1,013,411	-		
④	目標		-	-	-	25	27	28
	実績		14	21	-	25		
⑤	目標		-	-	-	500,000	600,000	600,000
	実績		914,000	-	-	597,868		

#### 3-1. < 指標から読み取れる成果と課題 >

・商業者数は増加しているが、一部の大型商業施設内に集中している。  
 ・特に製造業について、企業誘致活動に取り組んだ成果が統計数値上に現れつつある。  
 ・観光資源が乏しいなか、「花空間けいはんな」や「私のしごと館」の閉館で入込客が激減した。

#### 3-2. < 住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点 >

・駅前商業施設などで空き店舗への入居が進んでいない。  
 ・狛田駅前での商業施設立地に期待されている。  
 ・学研区域への企業誘致には京都府の立地要件が定められているため、業種や形態によっては立地できない企業もあり立地要件の緩和も課題となっている。

#### 4-1. <施策を構成する事業>

	重点	部 門 / 事業名 / 種別 / 決算書説明頁	事業費(人件費含む) / 事業費のみ / 事業費一財 <単位:千円>					
			H19(実績)	H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(予算)	H24(試算)
1	○	産業振興課	-	-	11,574	11,163	11,163	11,163
		商工会助成	10,450	10,450	10,450	10,450	10,450	10,450
		一般事業 179	-	-	10,450	10,450	10,450	10,450
2	○	産業振興課	-	-	11,902	10,990	12,355	12,005
		中小企業融資事業	8,529	9,483	8,358	7,485	8,850	8,500
		一般事業 179	-	-	8,358	7,485	8,850	8,500
3		産業振興課	-	-	2,537	2,484	2,567	2,567
		商工総務事務費	416	429	606	544	627	627
		一般事業 179	-	-	606	544	627	627
4		産業振興課	-	-	1,957	606	-	-
		消費生活研修会実施事業	77	66	26	22	-	-
		一般事業 179	-	-	26	22	-	-
5		産業振興課	-	-	1,955	2,165	2,261	2,261
		商工業振興事務費	8	15	24	16	112	112
		一般事業 179	-	-	24	16	112	112
6		産業振興課	-	-	2,823	3,118	3,442	3,347
		観光事務費	89	303	86	171	495	400
		一般事業 181	-	-	86	171	495	400
7								
8								
9								
10								

#### 4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・厳しい経済状況の中、融資にかかる保証料・利子補給制度が中小零細企業の経営を支援している。  
 ・平成22年3月から相楽消費生活センターを開設したことにより、毎日の相談体制が整い消費生活施策の充実が図れた。  
 ・また、消費生活研修会も同センターで実施することで、これまで本町で単独実施してきた講座を同センターに引き継ぐことで、経費の削減を図ることができた。

#### 5. <施策の今後の方向性>

・中小零細企業の育成支援のため、商工会への助成や保証料・利子補給制度の充実を目指す。  
 ・観光施策について、どのような仕掛けや企画などに取り組めるのか研究する。  
 ・シルバー人材センターの「ふるさと案内人」と連携を図り、お勧め情報や散策コースなどの紹介を行う。